

まちのわだい

教育長に

大塚國勝氏就任

「就任あいさつ」

阿蘇市が発足して3カ月余りが過ぎようとしています。この間、教育行政においても合併協議の中でまとめてきた多くの計画や課題の解決に向けての努力が進められている重要な時期に、教育長という重責を引き受けたことに、日々責任の重さを痛感しています。学校現場や教育現場を取り巻く諸情勢を再確認しながら時代に即応した確かな教育行政を行うことで、地域の活性化が図られるようにと思っています。



【教育長プロフィール】

大塚 國勝 (おおつかくにかつ)
昭和18年9月3日生まれ(61歳)
阿蘇市波野大字滝水417番地
元波野村教育長

特に、佐藤市長も教育行政には熱い思いと、格別の理解をいただいております。阿蘇市の行政と教育行政がお互いに連携することで、阿蘇市の教育行政の円滑な推進ができるものと考えています。教育委員会では、各種教育施設の現状把握を行いながら、安全確保を第一に考え、教育委員全員の共通理解をもつて施設管理の計画を進めていきます。また、全国的な課題であります「確かな学力の向上」や「豊かな心の育成」、そして「信頼される学校づくり」をどのように進めていくか等、解決すべき課題は数多くありますが、一つひとつ解決していきたいと思います。児童生徒が生きる力を育み、命の大切さを身につける教育活動は、学校現場だけでは解決できない大きな課題であり、学校と家庭と地域との連携の取り組みが今まで以上に重要になってきます。

世界に誇れるこの阿蘇の自然や歴史、伝統と文化は私たち阿蘇市民の大きな財産です。この素晴らしい財産を保存し、育て、後世に伝えていくことも教育行政の責務だと思っています。自分たちが生まれ育った故郷に誇りを持つ子ども達を育てていくことが、多くの市民の阿蘇を築く第一歩として、いただきながら、阿蘇市の教育行政に取り組みでまいりますので、よろしくお願ひ申し上げます。

4月27日の議会で、日吉純夫氏が承認され、5人の教育委員会委員が決まりました。

教育委員会委員

役職	氏名	住所
教育委員長	池邊公生	宮地
教育委員長 職務代理者	中村裕典	湯浦
委員	日吉純夫	赤水
	相部弘子	宮地
教育長	大塚國勝	滝水

文化は市民生活のパートナー

阿蘇市文化協会設立総会開催

4月27日、一の宮就業改善センターで74人が出席して開催されました。

岩永合併準備会会長が「2月初めから準備を進めてきました。これからは、同じ市民としてそれぞれが協力し合って頑張っていきましょう」と挨拶し設立経過報告を述べました。大塚暫定教育委員長（現教育長）が「これまでは、合同文化祭などを通して交流をされていたと思います。今後はお互いにより刺激を与えながら活動されることを祈念します」と挨拶。規約や役員を選出が行われ、初代会長に岩永浩氏（宮地）が選出されました。

今後は、市文化祭の運営や各種サークルを通して、市の文化振興のために活動されます。



まちの
わだい

4月27日、碧水小学校で「人権の花」伝達式がありました。地元の人権擁護委員が児童たちに人権について話をされ、児童代表に花の種を手渡しました。

この運動は、花を育てることで人権尊重の精神を理解してもらおうことが目的です。今年からは碧水小学校が実施校となっております。これから全校児童で、ひまわり、サルビアなど6種類を20個のプランター等に植栽し、花を咲かせ、12月の人権月間ごろに収穫した種を風船につけて飛ばす予定です。



「人権の花」

大切に育てます！



▲人権イメージキャラクター「人KENまもる君」の登場に大喜びの児童たち



■第1回地域審議会開催される■

〜こころ豊かな

阿蘇市を目指して〜

5月9日から11日にかけて、旧一の宮町、旧阿蘇町、旧波野村の3地区で審議会委員に佐藤市長から委嘱状の交付があり、それぞれに地域審議会が開催されました。

地域審議会とは、町村合併直後に設けられる特別な制度で、地域住民の方々の声を市政に反映させ、きめ細やかな行政サービスを行っていくために、合併前の各地区の実情に応じた施策の展開に対する意見を聞く方法として設けられた市の付属機関です。各地区、委員は15人以内

で構成されています。

今後地域審議会では、新市建設計画の変更等に関する市長の諮問に応じて審議・答申を行うことはじめ、地域の均衡ある発展と住民福祉の向上を図るために必要と認める事項について審議し、市長に意見を述べることとなります。

合併に伴い、いろいろな面でわからないことや、疑問に思っていることなどがありましたら、お気軽にお近くの審議会委員さんにお伝えください。

各地区の審議会委員の方は次のとおりです

	一の宮地区	阿蘇地区	波野地区
会 長	志賀 聡雄 (坂 梨)	小笠原 徹朗 (黒 川)	城 井 栄作 (小 園)
副会長	長 尾 章 (宮 地)	西 村 清光 (赤 水)	佐 藤 照司 (赤仁田)
委 員	福 島 鐵治 (宮 地)	成 瀬 廣 (内 牧)	橋 本 幸生 (小地野)
	高 橋 佳也 (宮 地)	山 本 幸助 (小野田)	市 原 袈春 (波 野)
	中 川 竹久 (坂 梨)	園 田 晴夫 (役犬原)	藤 井 貴美夫 (波 野)
	工 藤 徹雄 (手 野)	山 本 清澄 (的 石)	加 藤 クラ子 (小地野)
	園 田 盡 (中 通)	日 田 政次 (赤 水)	阿 南 重継 (小地野)
	財 津 美恵子 (中 通)	成 瀬 優幸 (内 牧)	後 藤 義行 (赤仁田)
	江 藤 晃 (北坂梨)	内 藤 雄二 (狩 尾)	岩 下 雄治 (波 野)
	菅 乃保留 (手 野)	西 岡 スヤ子 (黒 川)	後 藤 秋則 (滝 水)
	井 佳子 (宮 地)	佐 藤 一 郎 (竹 原)	古 澤 新一 (滝 水)
	寺 川 隆文 (宮 地)	牧 野 浩子 (黒 川)	佐 藤 慎一 (中 江)
	笹 田 陽三 (宮 地)	湯 浅 正司 (山 田)	岩 瀬 葉津子 (波 野)
	山 内 孝志 (宮 地)	渡 邊 健児 (小 倉)	岩 下 道幸 (新波野)
甲 斐 徹 (宮 地)	井 野 貴志子 (内 牧)		

阿蘇清峰高校生が実習でつくった

「たかな味噌豚」が大好評！



阿蘇清峰高校生物科学科では、阿蘇の自然を有効活用した畜産経営を目指し学習を重ねています。

このほどプロジェクト班のメンバーが養豚実習から「たかな味噌豚」を完成。レストランで試して使ってもらったところ、大好評で、生徒たちも大変喜んでいました。

使用した豚は完全放牧。ストレスを与えず育てた健康で安心できる肉です。これを生徒が栽培した大豆で作った味噌とたかな漬（隠し味）で作った「床」に漬け込みました。協力したレストラン四季彩いちのみやでは、お客さんに試食の主旨を説明し、アンケートを依頼。消費者に「とてもやわらかい」と好評で生徒たちも自信が持てたようです。

3年の森隆仁さんは「休みの日も当番で飼育し、豚にストレスを与えないよう皆で気を付けてきました。大切なこの肉を一番おいしく食べてもらうため工夫した製品が好評でよかった」と感想。今後の実習へのやる気につながったようです。

米の成長見守り登下校

5月13日、岩本弘史さん（西下原）は、子どもたちに米づくりを体験してもらおうと中通小学校前に所有する田んぼ3aを学習用に提供しました。

田植えを初めて経験する1年生は恐る恐る田んぼへ足を入れ、上級生や地元老人会の方々の指導で苗を植えました。その後、きれいに植わった田んぼを眺めながら老人会の方々と交流会もありました。



※ご協力ありがとうございます。
岩本さんと同じように他の方々にも、市内の小学校に学習用に田を提供いただいています。



園児をイチゴ狩りに招待



5月20日、農業を営む渡邊靖昭さん（豆札）は、坂梨保育園の園児42人を、イチゴハウスに招きました。「イチゴの花は赤色じゃなくて白色だ」「いっぱいだったよ」と、子どもたちはハウスの中で大喜び。渡邊さんありがとうございました。

まちの
わだい

夢に向かう子ども達を 支える組織固まる

～阿蘇市PTA連絡協議会・阿蘇市子ども会育成連絡協議会、誕生～



4月26日、阿蘇いこいの村で、役員ら約100人が集い「阿蘇市PTA連絡協議会」設立総会が行われました。

非行を防止し、子どもたちの健やかな成長を守るためには、家庭・学校・地域社会が丸となって取り組む必要があると今回の設立に至ったもので、合併により2,000人を超えるPTA会員となった組織のもと、今後、様々な活動が展開されます。初代会長となった佐藤一郎氏（竹原）は「大役だが、子どもたちのため頑張りたい」と挨拶、新役員らと団結を誓いました。

また、23日には地区を単位とする「子ども会」も合併。一の宮就業センターで「阿蘇市子ども会育成連絡協議会」設立総会が開かれ、会長に井野勝明氏（鷲の石）が就任しました。

30,195人の人口に対し、2,505人の小・中学生。この子どもたちを守り育てていく体制が整いました。阿蘇市の未来を築く子どもたちの教育に全力が注がれます。

めざそう！ カギかけ日本一

県警が昨年から取り組んでいるカギかけ日本一運動。そのカギかけ推進リーダーの委嘱式が、5月6日にモデル校となっている一の宮中学校で行われました。

竹下阿蘇警察署長から、生活安全委員9人に委嘱状が渡され、代表して鳴川亮生くんが「自分の身体や財産は自分で守り、地域が安心して暮らせるよう努力します」と宣誓し、竹下署長が「力強い決意を聞き、大変頼もしく思います。全国に比べ、県下では未施錠による盗難が多発しています。窃盗する側は、開錠に5分以上かかる場合はあきらめるといった統計データが出ています。1つよりも2つカギをかけることで、盗難防止につながります。皆さんは、モデル校として校区内から犯罪が起きないように頑張ってください」と、1年生に自転車用ワイヤー錠を手渡しました。



阿蘇市から ゴキブリを追い出そう!!

一の宮町北1区女性の会（荒家子さんほか25人）は、平成8年から小麦粉で作る防虫剤「ホウ酸だんご」を地区の各世帯に配り、ゴキブリ駆除に取り組んでいます。

4月末も会員宅に集まり作業、「この活動が広まり阿蘇市からゴキブリが一匹もいなくなるのが目標」と、皆さんでホウ酸だんごを丸め乾燥させ、後日配布しました。また2ヶ月おきにアルミ缶収集を行い、益金を寄付するなど地域の人たちとふれあいをもちながら、住みよい環境づくりを実践しています。



まちの
わだい

つづじまつり 仙酔峡

第55回仙酔峡つづじまつりが、5月7日～6月5日に開催され、今年は例年に勝る開花で10万人の人数で賑わいました。
期間中の週末には、各団体が協力した野点（裏千家 坂梨社中）や物産展、山野草展、スポーツ大会などが行われました。



登山シーズン到来！安全を祈願

高岳登山山開きが、4月29日に仙酔峡で行われました。

今シーズンの安全を祈願し、神事を行った後、佐藤市長が「高岳は登るたびに魅力を感じることもできる山だと思います。すがすがしい風を全身で感じて、安全にケガをされないように登山を楽しんでください」と挨拶。

この日を心待ちにしていた登山者は、それぞれのペースで高岳を目指していました。

絶景！初夏の阿蘇でサイクリング楽しむ



今年で12回目の開催となる、一の宮町商工会・日本サイクリング協会主催のチャレンジASOサイクリング大会が5月15日に行われ、県内外から約350人が参加しました。

北外輪山を走る100キロコースとファミリーコース30キロに分かれ、朝、阿蘇神社をスタート。ゴール地点では、一の宮町商工会からカレーやだご汁が振舞われ、参加者は「最高のロケーションでした、また来ます」と満足の様子でした。



みやび⁺「端午の節句展」

今年で6回目となる、みやび⁺の端午の節句展が、5月10日から15日まで、仲町通り商店街の空き店舗を利用して開催されました。

期間中、メンバーが持ち寄った手作りおやつ、兜や矢旗など60点が展示され、道行く人々を楽しませました。

Bグループ			Aグループ			順位	男子	女子
3位	2位	1位	3位	2位	1位			
白石健男(吉城5区)	高橋清志(東2区)	塚本 定(下町)	中村幸典(分1区)	岩下公義(吉神2区)	市原 仙(神石)			
三城トシエ(吉城6区)	武田レイ子(吉神1区)	中村てい(分1区)	阿蘇品サチ子(吉城2区)	高倉ヤツ(神石)	井 英子(東3区)			

【グラウンドゴルフ】
5月10日開催(一の宮総合運動公園)
総合優勝 井 英子(東3区)



【野球学童】
5月7・8日開催(一の宮総合運動公園)
3位 阿蘇中

【ソフトテニス】

5月7日開催(一の宮総合運動公園)
優勝 高本元二(湯浦・安達文博(小国町)) ペア
2位 鶴林康成(東黒川)・河津一幸(小国町) ペア

つづじまつり協賛 スポーツ大会結果

(阿蘇市入賞者のみ掲載)



可憐な花に感激！ ～すずらん祭～

今年で6回目となるすずらん祭が、5月15日に、波野坂の上のすずらん自生地(1.5ha)で開催され、すずらんの可憐な姿を一目見ようと、県内外から多くの観光客が訪れました。

高橋佳也さんを講師に自然観察会が行われ、多くの参加者が阿蘇の野草を楽しみました。また特設会場では横堀岩戸神楽の公演が祭りに花をそえ盛り上げました。

九州で、すずらんが自生しているのは阿蘇地方だけとあり、年々波野のすずらんを見にくる観光客は増えているようです。

まちのわだい



▲黒川牧野のオープンセットの前で制作発表を行う出演者。
左から勝野洋さん、井上晴美さん、古閑三恵さん、小林幸一朗君、
中田新一監督、木村文乃さん、榎木孝明さん

協力金を募っています

「風のダドゥ」制作実行委員会(顧問：長野吉彰(株) 肥後銀行顧問、会長：永野光哉(株) 熊本日日新聞名誉会長、副会長：小堀富夫、坂本正 熊本学園大学学長、中山峰男 崇城大学学長、松前義昭 九州東海大学学長、幹事：佐藤義興 阿蘇市長、田嶋章二 苓北町長、中嶋憲正 山鹿市長、安田公寛 本渡市長)では、映画製作費を募っています。委員会では、熊本からこの映画を送り出す必要性を強く感じています。

ご理解の上、皆様のご協力をお願いします。

- 個人協力金 1口 1万円 (試写会招待券5枚付き)
- 団体協力金 1口 10万円 (試写会招待券10枚付き)
- 振込先 郵便局 01760-3-59552
風のダドゥ制作実行委員会
- 問合せ先：阿蘇市役所まちづくり商工観光課
Tel：22-3174

映画「風のダドゥ」 阿蘇での撮影順調

心の「癒し」をテーマに大自然の中で馬と人との触れ合いを描く、熊本発信の映画「風のダドゥ」。記憶を失い心に傷を負った元高校教師達夫(榎木孝明)、不登校を続ける少女(木村文乃)、阿蘇で牧場を営む親子(勝野洋・井上晴美)、失声症の少年(小林幸一朗)；そんな心に傷を負った人々が馬との出会いによって生きる力を取り戻していくというストーリーで撮影行われています。

5月25日に、ロケ地となっている黒川牧野で、出演者や実行

委員会幹事の佐藤市長などが出席して制作発表が行われました。小国町出身の勝野洋さんは「故郷を離れ、上京する時に大観峰を抜けて行った。その時の大観峰の美しさは今も忘れられません。この阿蘇の良さを、映画に乗せ全国に伝えたい」と抱負を語りました。この撮影には、エキストラや制作ボランティアなどに地元の方がたくさん協力しています。登場する馬達も、夢★大地グリーンバレー(代表 梅木康裕さん)など地元馬です。撮影は、6月中旬まで阿蘇で行い、来年春に放映の予定です。

歌のプレゼント 歌川二三子さん



歌手の歌川二三子さんが、4月22日に阿蘇市老人ホーム「上寿園」を慰問に訪れ、入所者に歌のプレゼントをしました。

6年前の訪問以来2度目とあって、「お帰り!」「待ってました!」との声の中、着物姿で登場した歌川さんは「覚えてる? 皆さん元気でしたか?」と気さくに話され、「岸壁の母」や新曲等7曲を披露。この日を心待ちにしていた皆さんは、手拍子をしたり、一緒に踊ったりと楽しい時間を過ごしました。

歌川さんは、「10年位前から1,000ヵ所を目標に全国の施設を慰問しています。これからも、命の続く限り皆さんと交流をしていきたいと思っています」と語っていました。